

間伐材丸太による小建築

— 木造都市での可能性を問う —

講演：宇野 享 (建築家 / CAn / 大同大学工学部教授)

「木の建築という視点」

講評：入賞者8名 × 審査員8名

審査委員長：高松 伸 (建築家/京都大学教授/木愛の会会長)

ゲスト審査員：宇野 享 (建築家/CAn/大同大学工学部教授)

審査委員：古川 忠稔 (木構造/名古屋大学環境学研究科准教授)

大影 佳史 (建築-環境計画/名城大学理工学部准教授)

太幡 英亮 (建築計画/名古屋大学工学部助教)

東海林 修 (建築家/東海林建築設計事務所)

南 喜幸 (丸美産業株式会社代表取締役社長)

鈴木 和雄 ((株)東海木材相互市場代表取締役社長)

開催日時：2012年5月26日 (土) 13:30~17:00

会場：名古屋大学ES総合館1階 ESホール (入場無料・定員200名)

当日会場にて入賞作品集を販売し、上位40作品程度を展示します。

ごあいさつ

木造都市研究会「木愛の会」は2006年に発足し、現代都市としての木造都市の実現に向けて活動して参りました。2012年の目標を、『多くの市民に「木」の良さ、魅力、可能性を広め、「木」をしようという意識を持つ市民や専門家とともに、地球環境への貢献や、循環型社会構築のため、あたらしい木の建築や街づくりの可能性を考え、大きな流れにしていく活動を行う。』としています。

そこで今回、森林資源の有効活用の道を開く新しい木造建築の提案を求め、第2回設計競技「間伐材丸太による小建築—木造都市での可能性を問う—」を開催致しました。応募作品は107点にも及び、応募された学生諸君の、新しい木造建築を切り開こうとする意識は予想以上のものでした。

この度は、建築家・宇野享氏より、木造建築への取り組みや、木造への思いを中心にご紹介頂いた後、入賞者によるプレゼンテーションと審査員講評、さらには会場の皆さまとのディスカッションを行います。

コンペ応募者のみならず、幅広い皆様のご参加をお待ちしております。

講演会＋講評会プログラム

1. 開会挨拶 : 高松 伸 (建築家/京都大学教授/木愛の会会長)
(13:30~13:45)
2. 木愛の会紹介とコンペ概要の説明：木愛の会コンペ実行委員
3. 講演 : 宇野 享 (建築家/CAn/大同大学工学部教授)
(13:50~14:50)
- 休憩
4. 公開講評 : 入賞者によるプレゼンテーションと
審査員とのディスカッション
一人10分 (発表5分ー講評5分)
(15:00~16:40)
5. 表彰式 : 各賞表彰および**実施作品の発表**
6. 閉会挨拶 : 田中英彦 (建築家/木愛の会代表世話人)

審査基準

最優秀賞または優秀賞作品のうち1点を後日、木愛の会で主催するイベントにおいて実際に施工する予定である。従って、提案性・芸術性といった評価に加えて、以下に示すような施工性が求められる。

- ・組立と解体が簡易であり、重機を用いずに施工できること。
- ・必要に応じて1/30以上の詳細図があることが望ましい。
- ・施工対象となる小建築の全体または部分が建築面積20㎡程度
最高高さ5m程度に納まる事。